

員を15名から減らされるのではないかと、定例会の内容は。

Q: 土地改良区、議会、農業協同組合、農業共済でそれぞれ選任している。定員削減は難しい。

Q: 花の郷事業 旭原福祉工場の補助金の役割は大きい。観光とはかけ離れている。花の専門家に調査すべきだ。

A: 専門の業者に依頼して見積もり対応したい。

Q: 湯沢の安心安全ガイド事業の内容は。

A: 登山道の巡視と補修等、冬季スノーシューコースの開発の調査、ネーチャガイド派遣者地型旅行は外国人の長期滞在者に対しての旅行商品の開発、ほくほく線とタクシールを組み合わせた十日町市そばの食べ歩き。

Q: ミス駒子のコンテストを何故夏に実施するのか。

A: 協会の理事会で決定、コンテストは夏実施したい。冬のスタッフ不足からではないか。

■教育課：一般会計

Q: 学力テストについて、2月10日現在町は全校実施を検討中との新聞記事が載っていた。その真意は。

A: 町として全校参加すると各校長と話している。全国学力調査は22年度から無償で

2校が選択方式の対象となっているが、湯沢町は全校で実施する。ただ、抽出されない学校が無償になるのかが有償になるのか、またどこで採点されるのか決まっていないので、その分がこの予算に計上されていない。標準学力テストのN R Tは小2年生から6年生まで、C R Tは全学年の費用を計上している。

Q: 町研に小中一貫校への関わりで現場の教師がこの問題を発言する機会を作って欲しい。

A: 校長、教頭先生を通じて現場の声を吸い上げたい。

Q: 中学校部活動指導の部活とは。

A: 野球部、陸上部、クロスカントリースキー部の指導者に多少出した。

Q: 童画展は町長の公約、美術館建設、駅東地区はどう云う形で実施するのか。

A: 町長が決断したことそれに沿って向かう。大きな問題から各課と連携して、財政の問題などから、慎重に検討していきたい。

Q: 民族資料館の経費は指定管理者、民でできることは民でどの町長の答弁が合った。徐々に入館者が減っている。この度は中学生のボランティアが

下などいろんなことをやっている成果はどう云う形で出ている。

A: 21年度天地人と展示方法に工夫し、中学生ボランティアの協力を仰ぎ、これまでに入館者1万6164人、入館料667万2000円と若干増えている。

Q: 中学1年生の70名は2クラスになるが、1名の補助教師をどう使われるのか。

A: 1年生2クラス、3年生76名の3クラス、教師の負担減をするために年間雇用とした。従って、1年生を3クラスにするためではない。

Q: 給食センターの業務委託は資材の貸付の220万円の収入に、3600万円委託料の増減はどうなっているのか。事故があった場合はどうなるのか。

A: 委託契約は現場に直接指示できないし、運営方法は変わらない。管理費相当分の60万円は加算される。

Q: 教育財産収入について、高校体育館の夏合宿に536万円、体育館だけを貸付ける。100万円の雑収入に2年後の解体する経費をかけて使うのか。

A: 文教施設整備の間、利活用させたい。

■税務課：一般会計

Q: 現年度分の償却資産は大抵配分を除いた徴収率は。

A: 償却資産の大抵配分は100%の徴収率である。町長決定分の償却資産の徴収率は含めて91.9%に安全率を見込んで88%を見ている。21年度は94.6%に至っている。0.1%でも多く徴収率を上げた。

Q: 入湯税の滞納繰越分の1月分残高180万円の現在額は。

A: 2月に56万5千800円、3月の先付小切手を預かっている。

■町長への総括質疑

Q: 町の定員適正化計画の自立プランでは130人に落とし行政のスリム化を提案されていた。新しい人材を求め組織の活性化を図るためにも、退職者の再任用制度を利用してはいけないと考えている。いよいよなればアウトソーシング方式で対応すればいい。町長の考えを聞きたい。

A: 若人を多く採用してということがあります。長期にわたり部署にいた方を再任用することも必要な場合もある。

Q: 全国学力学習状況調査が22年の4月20日に実施予定

であり。全員参加で一定の学力の向上に繋がる目的で全国で実施される。2月10日の新聞で湯沢町は全校で実施することを検討中との報道がされていた。今日の午前中の委員会の中で湯沢町は全校で実施するとの教育課長の話だった。しかしながら町長の施政方針中に全く触れられていないのはなぜか。

A: 教育の問題を私が云々と言うのはどうかと思いい、施政方針に乗せなかった。

Q: ペレットストーブ導入補助、廃食油の回収とこの問題に積極的に取り組む姿勢が伺える。また、デイスボーズで砕いたものが下水処理場で残渣されその汚泥を発酵させてエネルギーをつくりエネルギーを発酵した物を堆肥に利用することがバイオマスタウン構想の計画です。しかしながら東京のニューオータニで見たのは、そのものが堆肥に変えてしまふ手法であります。町長の言っていることと異なるのか。

A: 循環型環境地域としたい。